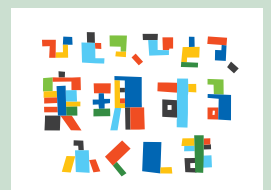




林業福島

No. 740

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



4

2026

監修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 明日へ繋ぐ



豊かで活力ある森林を次の世代へ

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山 善 継

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会の運営につきましては、日頃よりご支援、ご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。さて、この三月十一日で東日本大震災から九十五年が経過しました。震災、原発事故で大きな影響を受けた森林・林業の復興・再生は、関係者の皆様の懸命な努力はもとより、多くのご支援を頂いて歩みを進めてまいりました。そのような中、令和八年度から始まる「第三期復興・創生期間」においても、引き続き、森林整備の推進、林業担い手の育成、きのこ類の生産振興など、本県森林の再生、林業の復興に向けて、引き続き、林業関係団体が一体となって新たな課題への対応を含めて切れ目なく取り組んでいくことが重要であります。

国においては、カーボンニュートラルの実現・花粉症解決に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を目指した総合的施策、更には、激甚化する災害にも負けない、国土強靱化実施中期計画に基づく森林整備及び治山事業が進められております。

また、県においても「福島県農林水産業振興計画」に基づき、帰還困難区域内を含めた森林再生や主伐再造林の推進、県産木材安定供給の促進、きのこ生産の振興、林業アカデミーふくしまの運営、森林環境教育の充実など様々な施策が実施されます。

公益社団法人への移行十三年目を迎える当協会は、今後も県内森林・林業関係団体との連携を強化しつつ、ふくしま復興のシンボルとして平成三〇年度に行われた全国植樹祭や全国林業後継者大会の成果が次の世代に確実に継承されるよう、「キラリ！森林づくり」をキャッチフレーズに、人づくり（森林整備の推進と森林・林業の振興）、心づくり（緑化の推進）、産地づくり（きのこ類の振興）及び県土づくり（測量設計調査等の実施）の四つの柱で各種事業を積極的に展開してまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら

豊かで活力ある森林を次の世代へ

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

会長 小檜山 善 継… 1

令和8年度県林業関係当初予算…… 2～7

林業アカデミーふくしま就業前長期研修

令和7年度修了式…… 8～9

森林管理署メモ……10

木の文化を育む⑧……11

木材市況・ふくしま東西南北……12

はなしのひろば第155話・お知らせコーナー

……13

令和八年度県林業関係当初予算

福島県農林水産部

1 令和八年度予算について

令和八年度森林林業関係予算は下表のとおりです。

主なものとして、「東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化」については、「ふくしま森林再生事業（三、〇六一、二〇〇千円）」、「多様な担い手の確保・育成」については、「林業アカデミーふくしま運営事業（二〇一、九八二千円）」、「生産基盤の確保・整備と試験研究の推進」については、「林道整備事業（一、七三九、六四二千円）」、「活力と魅力ある農山漁村の創生」については、「森林整備事業（森林環境基金事業）（六一九、四六五千円）」に取り組んでいます。

2 施策の展開方向

福島県農林水産業振興計画では、次の六つの施策の展開方向を示しています。

- (1) 東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化
- (2) 多様な担い手の確保・育成
- (3) 生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

- (4) 需要を創出する流通・販売戦略の実践
- (5) 戦略的な生産活動の展開
- (6) 活力と魅力ある農山漁村の創生

令和8年度 森林・林業・木材産業予算の概要

(単位：百万円)

区分	R 8 当初	R 7 当初	増減額	増減率
予 算 総 額	14,344	15,988	▲1,644	0.897
一般事業費	8,141	8,339	▲ 198	0.976
公共事業費	6,203	7,649	▲1,446	0.811
一般公共	4,417	5,887	▲1,470	0.750
県単公共	1,786	1,762	24	1.014

(注) 予算要求は、林業費（職員費、試験研究費を除くと）と林業災害復旧費の合計を計上

六つの施策展開方向のうち、重点的に取り組む四つの施策展開について、主な予算概要をご紹介します。

一、東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

◆放射性物質除去・低減技術開発事業（森林林業） 二一、三四二千円
安全・安心な林産物生産のため、放射性物質除去・低減技術等を開発し、成果を迅速に現場に普及します。

令和八年度は、放射性物質の林産物・特用林産物への影響の実態把握と、吸収・抑制・低減技術の開発による生産者支援技術を確立するため、次の調査研究を行います。

- ①きのこの放射性セシウム移行メカニズムの解明
- ②きのこの放射性セシウム汚染対策に関する研究
- ③山菜類の放射性物質汚染動態の把握と汚染低減対策
- ④コナラ等立木の汚染実態に関する研究
- ⑤コナラ等立木の放射性セシウム移行要因等に関する研究
- ⑥コナラ等広葉樹の利用促進に関する研究

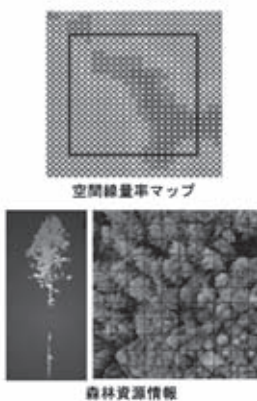
⑦森林内における放射性物質動態把握調査事業

◆林業先端技術展開事業

二〇、〇〇〇千円
高線量地域等を含む森林整備の安全な作業と森林施業を実現するため、「森林資源利用システムの実装に向けた検証と実証試験」を実施します。

令和八年度は、各種森林資源データをドローンおよび実測（地上）により取得し、データを照合してシステムの解析精度を検証・改良し、森林整備等の予定区域において、実証試験を行います。

森林資源利用システムの検証試験



◆ふくしま森林再生事業

三、〇六一、二〇〇千円
原発事故以降、放射性物質の影響により間伐等の森林整備が停滞し、森林の荒廃が懸念されることから、公益的機能の維持増進を図る森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を行い、森林の再生を図ります。

①事前調査や森林所有者の同意取得等

②整備前後における空間線量率の測定

③土砂移動抑制対策（丸太筋工の設置等）

④森林整備（間伐等）

⑤路網整備（森林作業道の開設等）



土砂の移動を抑える丸太筋工

再生を図ります。

①事前調査や森林所有者の同意取得等

②更新に必要な伐採、植栽及び下刈

③路網整備（森林作業道の開設等）



広葉樹林再生事業の様子、更新状況

◆広葉樹林再生事業

一，三七五，四一五千元

放射性物質の影響によりきのこ原木や薪炭用原木の指標値（原木として利用可能な放射性物質濃度）を超える原木林については、原木の生産が停止し、次世代への更新に必要な伐採が停滞していることから、萌芽更新（ぼうがこうしん）を促す伐採を行い、きのこ原木林等広葉樹林の

○汚染樹皮処理支援事業

（貸付）五七六，二〇〇千元
（補助）一三〇，〇〇〇千元

◆安全なきのこ原木等供給支援事業

三一六，八五六千元

本県は震災前までは全国有数のきのこ原木の供給地でしたが、原発事故による放射性物質の影響により、きのこ原木の生産は大きく落ち込み、他県より調達せざるを得ない状況となっています。また、原材料から子実体まで放射性物質のモニタリング検査を行うなど、震災前まではなかった負担が増加しています。

このため、栽培きのこ生産者の経営意欲が減退しないよう、きのこ栽培に必要な生産資材の円滑な調達に取り組み団体に対して支援を行い、生産者の負担軽減を図ることにより、本県栽培きのこの生産振興を推進します。

◆里山再生事業

二四，〇〇〇千元

住民が身近に利用してきた日常的に人が立ち入る里山（森林公園、遊歩道、キャンプ場等）において、住民が安心して利用できる里山の環境づくりを推進するため、林野庁など関係機関と連携し、森林整備や

除染の効果を確認、検証します。

具体的には、対象となる里山において、立木や土壌に含まれる放射性物質を測定し、森林内における放射性物質の分布状況を把握するとともに、住民の利用形態を想定した遊歩道等の空間線量率等の測定や、個人被ばく線量の測定を行います。



歩行サーベイによる空間線量率の測定とマップ

◆治山事業（復興創生）

一〇三，〇〇〇千元

東日本大震災より帰還が困難となった区域内において、山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全することにより、安全で安心できる生活基盤の再生を図ります。事業内容は、山地災害等による被害を防止するため、溪流の安定に向けた治山ダム工等の施設の整備を行

い、荒廃地等の復旧整備を実施するものです。

◆森林環境モニタリング調査事業

一三五、〇〇〇千円

県内の民有林を対象に、森林内の空間線量率や立木、土壌に含まれる放射性物質濃度の調査、結果の評価・解析等を行い、森林における放射性物質の動態と経時変化を把握します。

また、昨年度から震災以降手つかずであった帰還困難区域内の調査に着手し、同区域内で作業する作業員の安心・安全を確保しながら、森林整備と放射性物質対策を促進するため、必要な情報整備を行います。

二、多様な担い手の確保・育成

◆林業アカデミーふくしま運営事業

一〇一、九八二千円

本県の森林再生や林業・木材産業の成長産業化の実現に必要な林業人材を育成するため、林業アカデミーふくしまにおける研修を実施、運営します。

①研修運営費（林業アカデミーふくしまにおいて就業前長期研修及び短期研修を実施）

九五、〇一九千円

②管理運営費（林業アカデミーふくしま研修施設の管理運営）

六、九六三千円

◆林業就労環境整備支援事業

三一、三二四千円

本県の森林再生や林業・木材産業の成長産業化の実現に必要な林業人材を確保するため、就労環境の改善、労働安全の確保に取り組む林業事業体を支援します。

また、より効果的な施策の実施に向け、林業事業者等の調査分析を行う取り組みを支援します。

①林業就労環境整備支援事業

一八、一一四千円

林業就業者の定着を図るため、就業環境を改善する取組（デジタル技術の導入等）に要する費用の一部を支援します。

②木こりの安全確保推進事業

七、〇五〇千円

林業就業者の定着を図るため、労働安全を確保する取組（安全保護具の購入等）に要する費用の一部を助成する。

③林業事業者等リサーチ事業

二、〇〇〇千円

効果的な施策の立案・実施には、支援対象の現状や事業成果をリアルタイムに把握することが必要不可欠であることから、林業事業者等の現状や本事業の実施効果等について調査分析を行う取り組みを支援します。

④森ジョブ！就業前研修支援事業

四、一六〇千円

林業アカデミーふくしま就業前長期研修において、受講生が研修に専念できるよう、居住等の受講環境の整備に対する給付支援を行います。

三、生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

◆林道整備事業

一、七三九、六四二千円

安定した林業経営や効率的な森林整備に資する林内路網の整備、林業就業者の多くが居住する山村地域の生活環境の向上、災害時の代替路となる林道の拡張を図ります。

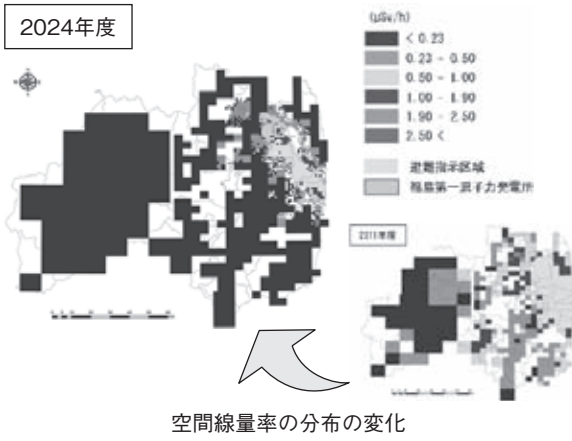
また、既設林道を局部的に改良し機能の向上を図るとともに、橋梁等の重要構造物の点検や修繕を支援し施設の健全性と持続性を保全します。

①林内路網の幹線となる林道・林業専用道の開設

②災害時の代替路となる林道の整備

③既設林道の局部的改良の補助

④橋梁等重要施設の点検・修繕の補助



空間線量率の分布の変化



就業前長期研修状況



楽翁溪松字線（西郷村）

四、活力と魅力ある農山漁村の創生

◆森林整備事業（森林環境基金事業）

六一九、四六五千円

森林の有する水源かん養機能や地球温暖化防止等の公益的機能の維持・増進を図るため、水源区域及び水源涵養機能又は山地災害防止機能が特に重視される森林等において、間伐や再造林等の森林整備を実施する。また、令和八年度より、スギ花粉症の発生源対策を図るため、花粉の少ないスギへの植替えを推進します。

①森林機能向上事業

手入れが行き届かず荒廃が懸念さ

れる森林の間伐等を支援。

②森林機能維持事業

ア 再造林、下刈り及びつる切り等保育を支援。

イ 一貫作業システムによる再造林を支援。

ウ 低コスト・省力化造林等に関する調査・実証。

エ 自然災害や林野火災で被災した森林の被害木整理等。

③（新）花粉の少ない森林づくり事業

花粉発生源であるスギ人工林から花粉の少ないスギへの植替えを支援。



一貫作業による機械地掃



花粉の少ないスギによる再造林

◆治山事業（一般治山）

四四一、二六二千円

森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から県民の生命・財産を保全することや、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図ることで、安全で安心できる豊かなくらしの実現を図ります。

事業内容は、山地災害等による被害の防止及び保安林の機能を維持強化するため、溪流や山腹斜面の安定を目的とした治山ダム工、土留工等の施設の整備や植栽、森林の造成等を行い、荒廃地及び荒廃危険地等の復旧整備を実施するものです。

◆森林情報（クラウド）活用推進事業（森林環境適正管理事業）

九、三七三千元

県の七割を占める森林を適正に管理するため、森林情報の管理や業務の効率化、及び市町村との情報共有を図るために導入した、「ふくしま森林クラウドシステム」及び県民向け森林情報地図サイト「ふくしま森まっぷ」の運用等を行います。

「ふくしま森まっぷ」を公開しています

掲載マップ一覧

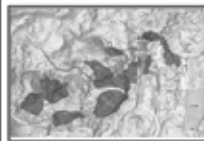
森林情報まっぷ



巨樹・巨木まっぷ



山地災害危険地区まっぷ



ふくしまの森林文化調査まっぷ



○ふくしま森マップ

<https://f-mori-map.maps.arcgis.com/home/index.html>



ふくしま森林もりづくり県民税による取組

福島県森林計画課

福島県は豊かな森林に恵まれており、私たちは森林の恵みを広く享受することで、豊かな生活を送っていきます。この豊かな森林を守り育て、健全な状態で次の世代へと引き継いでいくことは私たちの責務です。

そのためには、県民の皆様もこれら森林の恵みを理解し、森林づくりの大切さを考え、今できる身近なことから行動していただくことが大切であることから、県はその理念を明確にした「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を平成十七年十一月に制定しました。また、平成十八年四月からは福島県森林環境税を導入して、荒廃の恐れのある水源区域等の森林における間伐や一貫作業システムによる再造林などの森林整備のほか、間伐材の木質バイオマスへの利用促進や成長に伴い太くなった木材の利用を進めるための県産材サプ

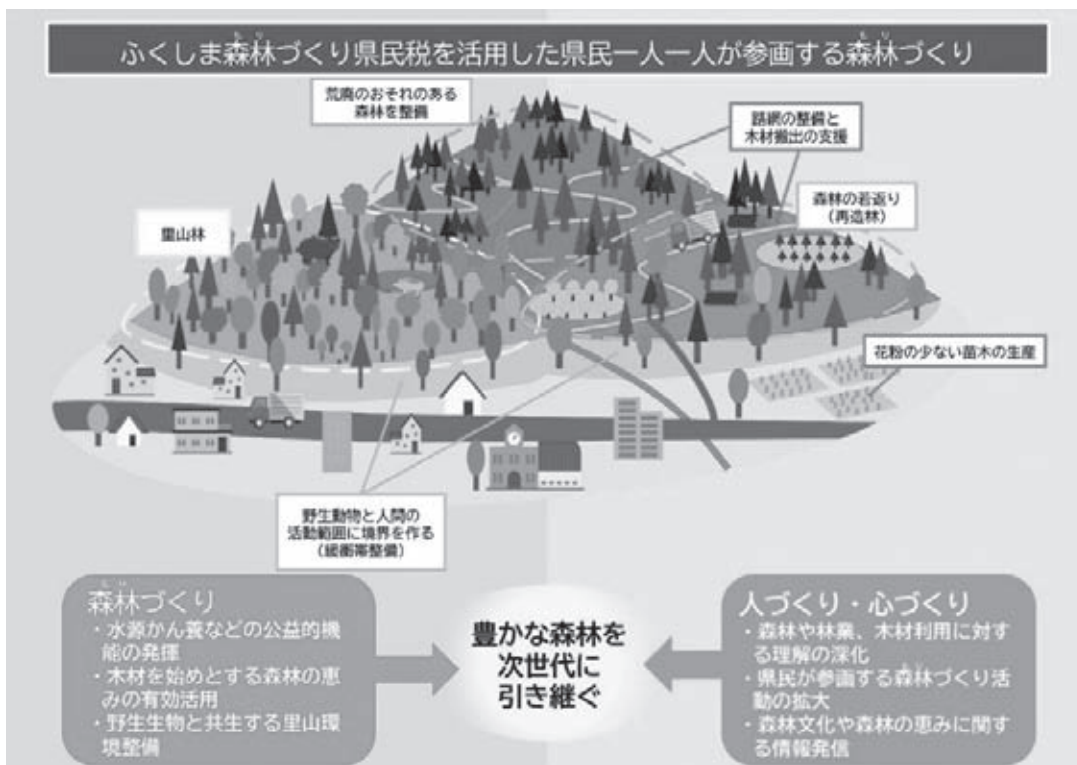
レイチェーンの構築支援、全ての世代に対する森林環境教育の支援などに取り組んできました。

今後の取組について、令和六年度に実施した県民アンケートの調査の結果、福島県森林環境税を知っていたと回答した人は三五・二割と税制度に対する県民の認知度は、十分とは言えない状況です。そのため、県民の皆様とともに本県の森林づくりに取り組んでいることをより分かりやすくお知らせするため、令和八年四月から「福島県森林環境税」を「ふくしま森林もりづくり県民税」に変更しました。

今後は、県内人工林の多くが利用期を迎えていることから、「伐って、使って、植えて、育てる」森林の循環利用を推進し、水源区域等における間伐に加え、伐採後の再造林や下刈り等の支援を強化するとともに、

引き続き、県産材の利用促進や県民参画による森林づくり活動の支援など、県民憲章の理念の実現に向け取り組みを進めてまいります。また、

これらの取組を積極的に県民の皆様へPRし、理解促進に努めてまいります。



再造林の推進に向けて指標値（森林整備面積）の見直し

福島県森林整備課



主伐（皆伐）再造林を進める「林業福島」のロゴマークです
(編集発行人)

○はじめに

森林整備面積は、福島県総合計画や県農林水産業振興計画の指標となっており、本格的な収穫期を迎えている森林資源の効率的・効果的な活用を目指すため、令和十二年度までの目標値を定めておりますが、直近の実績推移が減少傾向にあったことや、本県の森林・林業をとりまく状況の変化から、令和七年度に指標値の見直しを行いました。

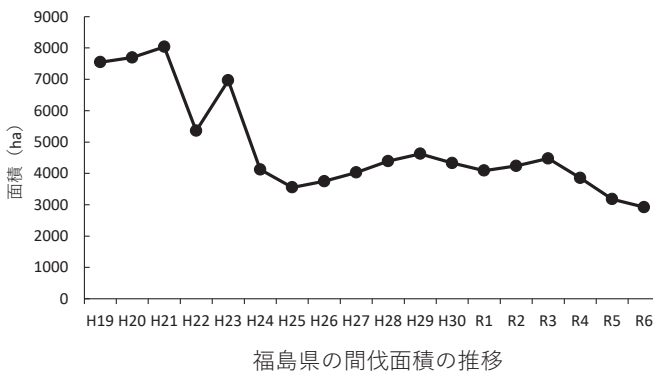
○見直し理由

森林整備面積は、原発事故以降、放射性物質の影響から大きく落ち込み、その回復に向けてふくしま森林再生事業などにより間伐を中心とした実施を実施してきました。

近年、終戦直後や高度経済成長期に造林された森林資源が充実し、主伐及び再造林の増加傾向がある一方で、間伐は減少傾向にあり、総じて全体の森林整備面積は、令和二年度より減少傾向が続くため、以下の点を踏まえて見直しを行いました。

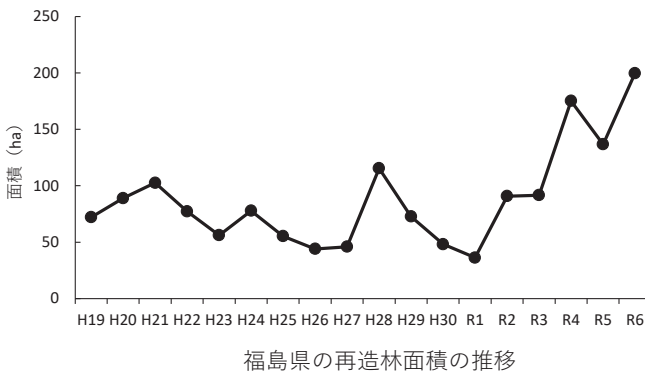
- (1) 新たな大型製材工場の稼働・計画等
- (2) 民有林素材生産量の拡大
- (3) 再造林面積の拡大

福島県の間伐面積の推移 (H19～R6)



福島県の間伐面積の推移

福島県の再造林面積の推移 (H19～R6)



福島県の再造林面積の推移

(4) 国・県の新たな施策展開（花粉発生源対策、県カーボンニュートラル条例の制定）

○主な見直し点
現目標値について、間伐と人工造林等との施業面積の推移を分析し、これまでの間伐中心の施業から、再造林を含む人工造林の強化へと大きな施策転換を図る視点で、森林整備面積を見直ししております。

させながら、これまでの計画で大半を占めていた間伐面積が減少することから、森林整備面積の目標値は、令和十二年度八、〇〇〇haから、新たな目標値令和十二年度六、一〇〇haと、現計画から二割以上の減となっております。

○おわりに
再造林の推進に向けて、令和八年度的一般造林事業は対前年比一〇六割とし、また、森林環境基金森林整備事業において、再造林を支援する「森林機能維持事業」及び令和八年度からの新規事業「花粉の少ない森林づくり事業」を合わせた予算は、対前年比一二九割と再造林を重点的に進められるような予算の拡充を

森林整備面積の推移と新たな目標値

(単位：ha)

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
現・目標値 a	6,200	6,300	6,500	6,700	7,000	7,200	7,400	7,600	7,800	8,000
実績 b	5,857	5,325	4,754	4,583	-	-	-	-	-	-
達成率 (b/a)	94%	85%	73%	68%	-	-	-	-	-	-
新・目標値	-	-	-	-	4,700	5,000	5,200	5,500	5,800	6,100

※森林整備面積は「人工造林」「下刈り」「除伐」「間伐」等の施業面積の合計（主伐は含まれない）。

図っているところです。
新たな目標値の達成のため、森林所有者のほか、担い手となる林業従事者、苗木生産者など、関係者の皆様が一丸となって取り組む必要がありますので、御理解と御協力をお願いします。

林業アカデミーふくしま就業前長期研修 令和七年度修了式

福島県林業研究センター

令和八年三月六日、林業研究センター研修施設において沖野農林水産部長をはじめ、ご来賓の方々のご臨席のもと、「林業アカデミーふくしま就業前長期研修」の令和七年度修了式を執り行いました。式では、一年間の研修を振り返る「研修の軌跡」を紹介したのち、林業研究センター石井所長が修了証書を一人一人に手渡し、式辞を述べました。

また、知事の告辞をいただき、「アカデミーで培われた知識と技術、仲間との絆を礎として、安全を第一にそれぞれの現場で力を発揮されることを期待している」と、修了生に大



修了生代表の佐藤尚也さんの答辞

きな期待が寄せられました。

修了生代表の佐藤尚也さんからは、研修生の仲間や関係する全ての方への感謝の言葉とともに「就業後は、皆様から学んだことを活かしながら基本を忘れず、広い視野をもって、福島のエ業に貢献できるよう励んで参ります」との答辞があり、式を閉じました。

令和七年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修の運営にあたり、関係者の皆様から多大なご支援とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。令和八年度も引き続きよろしくお願ひいたします。



記念撮影

修了生の言葉



いしかわ 石川
しげる 滋

林業アカデミーふくしまに入講して一年が経とうとしています。研修修了が近づき、寂しさとともに充実感も感じていきます。

この一年で、様々な事業者やアカデミーの林業関係者から、同じ業界でも視点の異なるお話を伺うことができました。これは今後現場で働くうえで、自身の考え方、価値観に凝り固まらずに幅を持たせるためにも大変貴重な経験になったと感じています。

また、アカデミーの現場実習では、課題に対して自身の中で根拠を持ち、その時の最善を尽くすことが次につながることを実感しました。

林業の現場には危険もあります。常に安全を最優先にしながら、どんな時も焦らず（自分はトラブルに対して焦りやすい性格なので）頭を切り替えて行動する姿勢を忘れな

いでいきたいと考えています。これからはここで得た学びとつながりを大切にしながら、林業に携わる一員として責任を持って歩んでいきたいと思っています。



いのまた 猪股
ふうと 楓斗

アカデミーに入講した当初は、ワクワクと不安で一杯でした。自分が木を倒しているところなど想像もできなかった四月から、早いもので一年が経とうとしています。

一年を通して林業の面白さと難しさをまっすぐと感じられました。講師の方々には、林業の楽しさと安全についてしっかりと教えていただきました。今振り返るととても貴重な時間だったと感じます。

私自身の中で一番変化を感じる点は安全意識です。自分が今まで気づかなかったところや危険だと感じていなかったところを講師の方々に指導していただき安全作業を考える時間がとても増えたなど実感しています。

この一年は時間の進みが早く、アカデミーの仲間とひとつ一緒に作業したり話したりしたかったりと素直に思えるほど楽しい時間でした。後にも先にも一番少ない研修生六人で今後の林業を少しでも盛り上げられるように修了後も切磋琢磨していきます。

家族の背中を追いつ、林業をやってみたいと思い始めて、そしてアカデミーに入講してから一年が経とうとしています。私は、この一年間で様々な林業の知識と技術を学び、経験することができました。

最初は、一年間だけで伐倒や重機操作技術を習得できるのかと不安な気持ちでいっぱいでしたが、講師や職員の方々の丁寧なアドバイスのおかげで、少しずつ上達することができました。

また、講師の方々の丁寧な説明で、これまで関わりがなかった測量等の、伐倒や刈払いとはまた違った林業の面白さを知ることができました。

この一年間で世代の垣根を越えて、共に切磋琢磨してきた仲間との時間は、高校を卒業したばかりの私にとって、もの凄い経験値になりました。この一年間で学んだことを活かしながら広い視野をもって安全にそして基本を忘れずに林業に携わっていききたいと思っています。



さとう なおや
佐藤 尚也

この一年間を振り返ると講義の一つ一つが鮮明に思い出されます。四月の講義から始まり、七月のインターンシップや月一回以上のチェーンソー伐木造材技術の講義など、林業に関する幅広い講義はこの世界を知らない私にとってかけがえない時間を過ごせたと思います。

中でも記憶に残っている講義は、七月に行われた初回の伐倒の講義でした。アカデミーに入ってから三ヶ月。生まれて初めての伐倒作業は、指差し呼称で確認しても確認不足に陥る状況になってしまいました。しかし、実際に木を倒してみると、自分の力で伐倒できたうれしさと大きな木が音を立てて倒れていく爽快感で胸がいっぱいになりました。これから先、林業の仕事を続けていくうえであの瞬間を超えることはないかもしれません。

この一年をアカデミーで過ごす選択が選べた自分に誇りを持ち、これからも忙しくも楽しい日々を頑張っていきたいと思っています。



さとう はやて
佐藤 颯

アカデミーでは、森林の成り立ちや樹木の生態といった基礎知識から、伐倒・造材・集材などの実践的な作業技術まで、林業に必要な知識と技能を体系的に学びました。

特に、チェーンソーによる立木の伐倒や高性能林業機械の操作に関する研修では、自分よりも大きなものを扱う機会が多く、今までにない経験がたくさんできました。その経験のどれもが非常に楽しいものでした。

一方で、チェーンソーによる伐倒では、伐倒方向を上手く合わせることでできず、かかり木になることもしばしばありました。かかり木処理の大変さや難しさを経験し、伐倒技術を極めることがいかに重要かを実感しました。

一年間では、教えていただいた全ての技術を身につけることができなかつたかと自覚しています。就業後も向上心を失わず、技術向上に努めていききたいと思っています。



はやし ゆうすけ
林 勇佑

「子どもたちや、後に続く人の世界を良いものにした。」

その想いを胸に、私は林業アカデミーの門を叩きました。

この一年、山と木、そして林業に生きる多くの方々と出会いました。現場の忙しい合間を縫い、惜しみなく時間を割いてくださった講師の方々。その姿から私は、技術だけでなく、山を守る誇りと覚悟を学びました。

なかには「学ぶより、まず現場へ」という声もあります。確かに、経験に勝るものはないのかもしれませんが。しかし、山も木も急には育ちません。苗木のときに手をかけるからこそ、まっすぐで強い姿へと成長します。アカデミーでの時間は、未来へ根を張るための大切な期間だと感じています。

丁寧に育ててくださった講師や職員の方々に報いるためにも、ここで得た学びを礎に、福島山や木を守り、次の世代へとつなぐ一人になりたいと願っています。



わたなべ じゅん
渡邊 淳

団体のページ

森林管理署×モ

森の妖精が棲む
「おもてごう天狗の森」
へようこそ！

林野庁では、国民による国有林野の積極的な利用を推進するため、森林づくり活動や体験活動を行いたい団体が、国有林を活用し、森林づくり活動等を実施できる制度があります。

福島森林管理署白河支署管内においては、その制度を活用し、ボランティア団体等と六件の協定を締結しています。それぞれ様々な活動を実施していますが、今回は遊々の森「おもてごう天狗の森」(通称・天狗山)について御紹介します。

おもてごう天狗の森は、白河市役所から南南東方向に約一〇キロの白河市表郷番沢字木戸ヶ入国有林地内に位置しており、約四五畝の森林は主にアカマツと広葉樹で構成され、林内は明るく斜面はなだらかです。様々な山野草を観察することができます。



当森林については、地元ボランティアで構成された「おもてごう里山クラブ」が、植物の保護と一般人に山を楽しんで貰うことを目的に、平成二四年十月に当支署と協定を締結して以来、約十八年に渡り、森林整備や遊歩道の維持管理等を継続して実施しています。

おもてごう里山クラブは、様々な山野草を楽しめるよう、春季〜夏季にかけて草花を観賞できるイベントを開催しています。

●四〜五月「天狗の花まつり」

里山に咲く多様な草花を楽しんで貰えるよう、毎年、四月上旬から五月上旬の一月間開催されています。カタクリやニリンソウ、ヤマブキソウの群生が見られるほか、林内一周できるように遊歩道が整備されているため、新緑に囲まれて散策を楽しむことができます。当イベント



ニリンソウの群生は東北最大級

トは、地元の広報誌や新聞だけではなく、全国的な山岳雑誌やテレビ放送においても紹介されており、毎年五、〇〇〇人以上が来訪しています。

●八月「レンゲシヨウマまつり」

令和七年度に初めて開催されたイベントです。当イベントは、おもてごう里山クラブが森林整備をする中で、レンゲシヨウマ(福島県準絶滅危惧種)の個体数が生息環境の悪化等により減少傾向にあることを知り、保護活動を始めたことが発端となっています。ボランティアによる森林整備や巡視だけではなく、令和五年度からは、バイオ技術を有する福島県立修明高等学校と共同で保護・保全活動を実施することで、個



第1回レンゲシヨウマまつりのチラシ

体数の回復に成功し、当イベントはその成果を発表する場となりました。当日は、修明高等学校の生徒によるガイドツアーやポスター展示があり、一日のみの開催にも関わらず、八〇〇人程が訪れました。

その他、十一月には「日本一遅い山開き」や秋の里山写真教室が開催されるなど、年間を通して様々なイベントの場として活用されていますので、興味ございましたら、福島森林管理署白河支署ホームページの「新着イベント情報」やおもてごう里山クラブ公式のFacebookをご覧ください。

近々では、天狗の花まつりが開催される予定です。おもてごう天狗の森の美しい景観は、ボランティアの方々による長年の整備活動により維持・発展してきました。観光でお待ちしております。そのことに思いを馳せつつ散策を楽しんでいただくと幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

木の文化を育む⁸⁵

地域に息づく木の文化〜四季ゆいの郷が育む
暮らし〜(株式会社四季工房 四季ゆいの郷)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

木の文化を育むことは、地域の森林資源を暮らしの中で生かし、その価値を次の世代へ伝えることにつながります。木を建築資材として使うだけでなく、木に触れ、そのぬくもりを感じながら、木のある暮らしを体験することは、木とともにある生活の豊かさを見つめ直す機会にもなります。

○木と暮らしにふれる拠点

四季 ゆいの郷(石川郡)は、地域の中で資源を循環させる家づくりや、環境に配慮した暮らしを形にした施設です。木材加工場、体験宿泊施設、センターハウスMIXIなどが設けられており、家づくりや古民家の活用、薪を取り入れた暮らしなどを通して、木の文化を暮らしの中で受け継ぐあり方を伝えていきます。

地域循環型の家づくりを大切に、創業以来変わることなくさまざまな取組みを続け、コストが重視されがちな時代にあっても、日本の伝統的

な家づくりの価値を少しでも伝えていきたいという思いが込められています。

○木を無駄なく生かす木材加工

木材加工場では、仕入れた木材をできるだけ無駄なく生かすことを大切にしています。国産無垢材を用いた床材や柱材などは、天然乾燥や低温除湿乾燥を経て、木の持ち味を生かしながら丁寧加工されています。さらに、熟練の大工職人が木材それぞれのくせを見極めながら部材として仕上げ、その特性を住まいづくりにも生かしています。

○木の魅力を感じる宿泊体験

体験宿泊施設は、木のある住まいや暮らしに触れられる場です。国産無垢材や自然素材に加え、壁体内の空気の流れを生かした独自のエアパス工法による住まいの心地よさも体感できます。実際に滞在することで、木とともにある暮らしの心地よさをより身近に感じられます。

○古民家を生かす取組

古民家を生かしたセンターハウスYUIでは、築六十年以上の民家を改修し、時を重ねた梁や柱、建具などを生かしています。長い年月を経た木には、新しい材料にはない風合いや存在感があり、そうした魅力に触れられることも、この建物の魅力の一つです。古くから使われてきた木を受け継ぎ、暮らしの場として生かす取組みは、木の価値をあらためて見つめ直す機会にもなっています。

○薪を取り入れた暮らし

ここでは木を建築資材として使うだけでなく、薪を日々の生活の中に取り入れる取組みも行っています。利用者自身が薪を割ることで、木を生活に取り入れる手間や知恵を知る機会も生まれます。また、ともに薪割りを行う時間は、人が集い、交流を深めるきっかけにもなっています。

○「木の祭り」が育むつながり

例年行われている「木の祭り」は、木に親しみ、人が集う機会の一つです。今年も、家づくりを体験することも上棟式をはじめ、カンナボールづくり、丸太切り、漆喰塗り、ミニ畳やタイルコースターづくりのほか、レベルツールやブックサンドをつくる木工教室も開催される予定です。こうした催しを通して、子どもから大人まで木や住まいづくりに

触れることができ、木を身近に感じる機会となっています。

○まとめ

木を建築資材として使うだけでなく、暮らしの中でその良さを感じ、受け継いでいくことは、木とともにある生活の豊かさをあらためて見つめ直すとともに、木の文化を次の世代へつないでいく力となります。あなたも、木のぬくもりや心地よさに触れ、木とともにある暮らしの豊かさを感じてみませんか。



「木の祭り」の様子



ゆいの郷

県森連いわき共販における木材市況（3月分）

令和8年4月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

素 材						素 材						
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	
スギ	4.00	9下	12.0	11.5		カラマツ	4.00	12下				
		10~13	14.0	13.5				13~14				
		24上	13.8	13.0				16上				
	3.65	16上				クリ	4.00	16上	12.0	11.0		
		24上	11.5	10.3			3.00	16上	11.0	10.5		
	3.00	9下	11.5	9.5		モミ	4.00	20上				
		10~13	11.5	10.3								
		14~16	11.5	10.3								
		18~20	12.1	11.5								
	6.00	22上	12.5	11.0		市況概要と市況展望						
16~20		14.0	13.5		販売量は2,944㎡（前年同月比88%）でした。 スギ3m柱材、中目材は、引き合いは強いですが、価格は値下がり傾向で推移しました。4m材も若干の値下がり傾向にはありますが、こちらも引き合いは強いです。 先行きの状況が続くものと思われま。3m材の入荷は良いですが、4m材の入荷は少なめです。造材方よろしくお願い致します。							
2.00	16上	8.5	6.0								4月の共販日	
ヒノキ	4.00	10~13	9.0	8.8		7日(火) 17日(金) 27日(月)						
		14~16	15.6	14.0								
		18~20	16.0	15.0								
		22上	16.2	15.2								
3.00	16~20	14.8	13.5		行 事 と お 知 ら せ							
4.80	18~22											
アカマツ	4.00	18~22	10.5	10.0		県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 福島県森林組合連合会 木材市況 </div> <input type="button" value="検索"/>						
		24上	10.5	10.0								
	3.00	16~22	10.5	10.0								
		24上	10.5	10.0								

昨年（令和7年）は農業総合センターから相談があり、稲作で夏場の高温により問題となっている「苗立枯細菌病」の対策として、

「苗立枯細菌病」の対策として、

きのこの菌床栽培で発生が終了した廃菌床について、皆さんどのようなイメージをお持ちでしょうか？私は特用林産を担当するまで、ただの廃棄物という認識しかありませんでした。

生産者への巡回指導の中で、廃菌床の扱いを聞くと、皆さん畑へのすき込みや近所の農家へ肥料として譲ったり再利用されています。「最高の有機肥料だ」「廃菌床があれば他に肥料はいらない」など、兼業で稲作や野菜を栽培している方は水田や畑へすき込んでおり、なかには廃菌床が足りず、他の生産者から譲ってもらおうという生産者まです。います。



畑に蒔いた廃菌床

きのこの廃菌床を稲の育苗培土に混ぜ込み病気を抑制できるかを試験するため試験料の提供を依頼されました。試験の結果、苗の生育も良く発病が抑制される傾向が見られたとのこと。近々、試験課題化されるかもしれません。

なんだかすごい力を持つ廃菌床。耕作が始まる春、私も畑へ蒔いてみました。さて、ここで何の野菜を育てようか。花壇の肥料にも最高のので、皆さんも利用してみてください。



「廃菌床のちから」

福島県農林事務所 田崎 実

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たもち

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

GFB-90S

フェラーバケット
グラップル

新発売

イワフジ独自の2WAYバケットと格納式ソーユニットを装備した
道付け用オールインワンアタッチメント

For the future with forest

IWAFUJI

イワフジ工業株式会社



Website



Instagram



YouTube



(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1

TEL: 0197-23-3111 FAX: 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破碎径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ 林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1